

1. はじめに

私は、工学部機械工学科4年、山田湧太です。6月に渡米しロチェスター工科大学（以下、RIT）の英語学校で勉強をしています。交換留学の期間は、8月24日から1月下旬までのRITの秋学期の期間です。この交換留学の間も基本的に英語学校に通うことになるのですが、条件を満たせばアカデミックの授業も履修することが可能です。本稿では、RIT・英語学校について概要を示し、特にクラス分け（レベル）、授業内容について紹介します。

2. RIT, 英語学校・English Language Center

RITは、ニューヨーク州ロチェスター市の郊外、ヘンリエタという町に位置する理系総合大学で1829年に創立しました。アメリカの名門大学の一つと評されており、特に芸術の部門では全米でもトップラスです。さらに、キャンパス内には国立のNTID、国立聾工科大学が併設されており、数多くのろう学生が他の学生と同じく学んでいます。

英語学校（以下、ELC）は、RITのキャンパスに位置する英語を第二言語として学習する学生向けの学校です。ELCでは2つ期間の異なるプログラムを案内しており、8月下旬または1月下旬から開始する15週間のプログラムと6月下旬から開始する9週間のプログラムです。前者は、RITの学期（春、秋）に対応し、後者は、RITの夏休みに対応しています。そのため、9週間のプログラムのキャンパスは秋学期と比べるととても静かで、人もまばらでした。



(<https://www.rit.edu/emcs/ptgrad/landing/gradopenhouse.php>)



3. クラス分け（レベル）

ELCには、7つのレベルでクラス分けが行われています。すべてのクラスを通してアメリカの大学で学ぶための英語を身につける場所であり、基本的にはRITへ入学を考えている外国からの学生がほとんどですが、中には、私たちのような交換留学や大学院入学の準備期間（英語学習のための）として通っている学生もいます。以下に7つのクラスを示します。

Beginner	多少の英語に関する理解をもった学生のためのクラスです。読み、書き、話しについて基礎レベルで学習します。
Intermediate	英語に関する学問的な知識を持った学生のためのクラスで、さらに練習が必要な生徒のためのクラスです。
High Intermediate	英語に関する学問的な知識を持った学生のためのクラスで、アメリカの大学に進学を考えている学生のためのクラスです。

Advanced	英語に関する学問的な技術を必要とするクラスで、より高度な教材を用いて学習します。このレベルでは、1つの授業 (ELC 外の授業から) を履修することができます。
Academic	英語に関する高度な技術を必要とするクラスで、学部生と院生に分かれた二つのクラスがあります。このレベルでは、2つの授業 (ELC 外の授業から) を履修することができます。
Advanced Academic	RIT でのフルタイムの履修が必要となるクラスで、すでに大学で学習を始めている学生向けのクラスです。

4. 授業内容

本項では、概要のみですがさらに詳しい内容は次の報告書で報告する予定です。

それぞれのクラスに3つの授業があります。ライティング&リーディング (アカデミックな読み書きを学習します)、スピーキング&リスニング (プレゼンテーションの練習、ノートの取り方を学習します)、言語分析 (Language analysis : 文法について学習します) の3つです。ELC では、科学、工学、情報工学、健康科学、経済など様々な分野からなる教材を用いて学習します。例えば、あるクラスの先生は、一回目の授業の際に学生の専攻を聞くアンケートをとり、これらの分野から教材を選んでいました。つまり、学生の興味に沿った授業内容で他にも楽しく英語を学べるカリキュラムのように感じました。

5. さいごに

秋学期になると RIT は広大なキャンパスにたくさんの学生で賑わっています。学校の設備は、体育館、ジム、プール、スケートリンク、グラウンドなど数多くの設備が整っており勉強以外でも退屈しない学校生活を送れる環境です。また、クラブ活動や学内リーグもまた数多く存在し、それぞれの学生が興味のあるものや趣味を見つけて楽しみ、適度な運動でストレスも解消しています。どのクラブやイベントに参加するにしても英語ですので私は一石二鳥や三鳥のような気分です。これからの留学生活もこれらの環境を生かして教室での学習とそれ以外での英語を話す機会に参加し、これらのバランスのとれた生活を送ろうと思います。